

平方北小学校の再編に係る方向性（素案）について のアンケート結果報告（概要版）

（１） 調査概要

平方北小学校の再編方向性（素案）に対する、保護者・教職員・地域住民の意向や懸念事項を把握するために実施。

- ・実施期間：令和８年６月１８日（木）～８月７日（金）
- ・総回答件数：７４件

回答者の属性と意見提出割合

対象区分	回答件数	意見・提案「あり」	主な属性
保護者	２０件	１０件 (５０%)	未就学児～小６保護者 (年長、小５保護者が多く回答)
教職員	１５件	２件 (１３%)	学級担任７名／担任外８名
地域住民	３９件	３６件 (９２%)	学区内５名／学区外３３名/不明１名

（２）教職員からの主なご意見

移行期における運用

移行期における児童同士の交流や連絡調整業務は、在籍している教職員が行うのか、行政側のサポートはあるのか。

説明会の進め方

具体的な方針やスケジュールの見通しを示すことで、保護者や地域の不安軽減につなげてほしい。

子どもたちの安全・学校生活への配慮

子どもたちの安全とより良い学校生活の実現を進めてほしい。

（３）現役保護者・未就学児保護者からの主なご意見

児童の心理負担

再編により、これまで一緒に過ごしてきた友達や兄弟と離れてしまうことへの不安や心理的負担。（４件）

特例措置

単純な距離だけでなく、指定校3校（平方小・大石南小・平方東小）からの柔軟な選択や、特例措置の対象者拡大を希望（2件）

学童保育の受入体制

再編先の学校の学童保育に入れるか不安。（2件）

再編スケジュール

方向性が決定しているのであれば、スピーディーに進めてほしい。決まらない状態が続くことで、これからの入学者や在校生が不安を感じる。（2件）

（4）【学区内】地域住民からの主なご意見（回答件数：5件）

教育環境の最適化

集団での対人関係や教員配置の効率化のためにも再編すべき。（2件）

行政の対応

自治会等での議論や情報共有が不十分なまま進んでいる印象がある。（1件）

特例措置

再編時には柔軟に学校を選択できるようにしてほしい。（1件）

少人数学級の価値

一人ひとりに目が行き届く小規模校の継続・存続を求める声。（1件）

（5）【学区外/不明】地域住民からの主なご意見（回答件数：34件）

少人数学級の価値

一人ひとりに目が行き届く小規模校の継続・存続を求める声。（21件）

子供への影響

通学距離の増大や低学年児童の身体的・心理的負担を心配する声。（5件）

地域機能の維持

避難所機能の維持、学校開放の継続（12件）

地域の衰退懸念

子育て世代の流出や過疎化を懸念（7件）

行政の対応

地域説明会開催のタイミング等への意見（8件）

※1つの回答に対し複数のご意見・ご要望が含まれているため、回答件数より合計数が多くなっています。